

薬剤部からのお知らせ 2018 No.1



平成30年6月11日発行

医薬品の採用・中止・変更について —平成30年6月7日薬事委員会結果報告—

①院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ビダーザ注射用 100mg(アザシチジン)	骨髄異形成症候群治療剤
シグマート注 2mg(ニコランジル)	不安定狭心症・急性心不全治療剤
エンシュア・H(配合剤・バニラ味)	半消化態栄養剤
デュピクセント皮下注 300mg シリンジ(デュピルマブ)	アトピー性皮膚炎治療剤
ピノルビン注射用 30mg(ピラルビシン塩酸塩)	抗悪性腫瘍抗生物質製剤
ナルベイン注 2mg(ヒドロモルフォン塩酸塩)	癌疼痛治療用注射剤
ナルベイン注 20mg(ヒドロモルフォン塩酸塩)	癌疼痛治療用注射剤
トリビック(沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン)	ワクチン・トキソイド混合製剤
ネキシウム懸濁用顆粒分包 10mg(エソメプラゾールマグネシウム水和物)	消化性潰瘍用剤(PPI)

⇒ 平成30年6月19日より処方開始の予定です。

②院内製剤変更医薬品

変更前医薬品名 ⇒ 変更後医薬品名(成分名)	薬品分類
アンカロン注 150 ⇒ アミオダロン塩酸塩静注 150mg「TE」(アミオダロン)	不整脈治療剤
デスモプレシン点鼻液 0.01%協和 ⇒ デスモプレシン・スプレー2.5 協和 (デスモプレシン酢酸塩水和物)	中枢性尿崩症用剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

③院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
エンシュア・リキッド(配合剤)※	半消化態栄養剤
ユナシン錠 375mg(スルタミシリン塩酸塩水和物)	合成ペニシリン製剤
リスモダンカプセル 100mg(ジソピラミド)	不整脈治療剤
シーブリ吸入用カプセル 50μg(グリコピロニウム臭化物)	長時間作用性吸入気管支拡張剤
トプシムクリーム 0.05%(フルオシノニド)	外用合成副腎皮質ホルモン剤
ゾラデックス 3.6mg デポ(ゴセレリン酢酸塩)	抗悪性腫瘍剤(LH-RH アゴニスト)
タンゴコール静注 50mg(フレカイニド酢酸塩)	頻脈性不整脈治療剤
ホスホマイシン Na 静注用 1g「タカタ」(ホスホマイシンナトリウム)	ホスホマイシン系抗生物質製剤
リスパダールコンスタ筋注用 25mg(リスペリドン)	持効性抗精神病剤

⇒ 院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。 ※エンシュア・リキッドは院外も中止となります

④院外採用中止医薬品(同効薬の見直しに伴う中止)

医薬品名(成分名)	薬品分類
アジャスト A コーワ錠 40mg(センナエキス)	緩下剤
インプロメン錠 1mg(プロムペリドール)	抗精神病剤
グリセリン浣腸「オヲタ」120mL(グリセリン)	デイスポーザブル浣腸剤
セレネース内服液 0.2%(ハロペリドール)	抗精神病剤
ベプシドカプセル 50mg(エトポシド)	抗悪性腫瘍剤
ペルマックス錠 250 μ g(メシル酸ペルゴリド)	パーキンソン病治療剤
ロナセン散 2%(プロナンセリン)	抗精神病剤

⇒ 在庫がなくなり次第中止としますが、最終を平成 30 年 9 月 30 日とします。

⑤院外採用中止医薬品(2 年以上処方のない医薬品)

医薬品名(成分名)	薬品分類
トピロリック錠 60mg(トピロキソスタット)	高尿酸血症治療剤(尿酸生成阻害剤)
モディオダール錠 100mg(モダフィニル)	精神刺激剤
リタリン錠 10mg(メチルフェニデート塩酸塩)	精神刺激剤
コスパノンカプセル 40mg(フロプロピオン)	自律神経系作用剤(副交感神経抑制・遮断剤)
ジゴシン散 0.1%(ジゴキシン)	強心剤(ジギタリス製剤)
アミサリン錠 125mg(プロカインアミド塩酸塩)	抗不整脈剤(Ⅰa 群)
インヒベース錠 1mg(シラザプリル)	ACE 阻害剤
コナン錠 10mg(キナプリル塩酸塩)	ACE 阻害剤
ワイテンス錠 2mg(グアナベンズ酢酸塩)	降圧剤(中枢性 $\alpha 2$ 作動剤)
アルタットカプセル 37.5mg(ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩)	消化性潰瘍治療剤(H ₂ 受容体拮抗剤)
アルタット細粒 20%(ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩)	消化性潰瘍治療剤(H ₂ 受容体拮抗剤)
ノエル細粒 40%(セトラキサート塩酸塩)	消化性潰瘍治療剤(胃粘膜微小循環改善剤)
ナゼア OD 錠 0.1mg(ラモセトロン塩酸塩)	5-HT ₃ 受容体拮抗型制吐剤
タチオン錠 100mg(グルタチオン)	肝疾患治療剤
コージネイト FS バイオセット注 1000 国際単位(オクトコグアルファ)	凝固因子製剤
ミッドペリック 135 腹膜透析液 2L(排液用バッグ付)	腹膜透析液
ミッドペリック 250 腹膜透析液 1.5L(排液用バッグ付)	腹膜透析液
ミッドペリック L250 腹膜透析液 1.5L(排液用バッグ付)	腹膜透析液
コンバントリン錠 100mg(ピランテルパモ酸塩)	線虫駆除剤
5-FU 錠 50mg 協和(フルオロウラシル)	抗癌剤(フルオロウラシルとその誘導体)
5-FU 錠 100mg 協和(フルオロウラシル)	抗癌剤(フルオロウラシルとその誘導体)

⇒ 平成 30 年 6 月 30 日で中止とします。

次ページに続く

⑤院外採用中止医薬品(2年以上処方のない医薬品)続き

医薬品名(成分名)	薬品分類
ザーコリカプセル 200mg(クリゾチニブ)	抗癌剤(キナーゼ阻害剤)
ボラキス錠 3mg(オキシブチニン塩酸塩)	神経因性膀胱治療剤
デトルシールカプセル 4mg(酒石酸トルテロジン)	過活動膀胱治療剤
デュロテップ MT パッチ 8.4mg(フェンタニル)	麻薬(非アルカロイド系)
フルスタン錠 0.3 μg(ファレカルシトリオール)	副甲状腺機能亢進症治療剤
イソジンスクラブ液 7.5%(ポピドンヨード)	消毒剤
オスバン消毒液 0.025%(ベンザルコニウム塩化物)	消毒剤
ツムラ胃苓湯エキス顆粒(配合剤)	漢方製剤
ツムラ柴胡清肝湯エキス顆粒(配合剤)	漢方製剤
ツムラ四君子湯エキス顆粒(配合剤)	漢方製剤
ツムラ二朮湯エキス顆粒(配合剤)	漢方製剤
ウチダのウヤク M	生薬製剤
ウチダのキキョウ M	生薬製剤
ウチダのキョウニン M	生薬製剤
ウチダのセンキュウ M	生薬製剤
ウチダのヤクチ M	生薬製剤

⇒ 平成 30 年 6 月 30 日で中止とします。

⑥販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	(外) : 院外専用医薬品	薬品分類
ケナログ口腔用軟膏 0.1%(トリアムシノロンアセトニド)		外用副腎皮質ホルモン剤
セルテクト錠 30(オキサトミド) ^(外)		アレルギー性疾患治療剤
セルテクトドライシロップ 2%(オキサトミド)		アレルギー性疾患治療剤
ロヒプノール錠 1(フルニトラゼパム) ^(外)		不眠症治療剤

⇒ 在庫がなくなり次第、処方中止とします。

⑦販売中止に伴う製剤等変更医薬品

変更前医薬品名 ⇒ 変更後医薬品名	(外) : 院外専用医薬品	薬品分類
ロヒプノール静注用 2mg ⇒ サイレース静注 2mg		麻酔導入剤
マルツエキス ^(外) ⇒ マルツエキス分包 ^(外)		乳幼児便秘治療剤
イミペネム・シラスタチン点滴用 0.5g「サンド」 ⇒ チエナム点滴静注用 0.5g		カルバペネム系抗生物質製剤
サンメール内用液 5% ⇒ アルロイド G 内用液 5%		逆流性食道炎・消化性潰瘍用剤
トミロン細粒小児用 10% ^(外) ⇒ トミロン細粒小児用 20% ^(外)		セフェム系抗生物質製剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

【院内新規試用医薬品】

(アザシチジン)

▶ビダーザ注射用 100mg

劇

Vidaza 100mg/V

〔日本新薬〕

〔薬価〕41,961 円/瓶

【効】骨髄異形成症候群

【用】(注) 75mg/m² を 1 日 1 回 7 日間皮下注又は 10 分かけて点滴静注し、3 週間休薬する。これを 1 サイクルとし、投与を繰り返す。

(アザシチジン)

▶シグマート注 2mg

Sigmat 2mg/V

〔中外〕

〔薬価〕269 円/瓶

〔貯法〕10℃以下

【効】①不安定狭心症 ②急性心不全(慢性心不全の急性増悪期を含む)

【用】(注) ①生理食塩液又は 5%ブドウ糖注射液で溶解して、0.01～0.03%溶液とする。2mg/時の点滴静注から投与を開始する。最高用量は 6mg/時までとする。②生理食塩液又は 5%ブドウ糖注射液で溶解して、0.04～0.25%溶液とする。0.2mg/kg を 5 分間かけて静注し、引き続き 0.2mg/kg/時で持続静注する。0.05～0.2mg/kg/時の範囲で調整する。

(デュピルマブ)

▶デュピクセント皮下注 300mg シリンジ 劇

Dupixent 300mg/2mL/筒

〔サノフィ〕

〔薬価〕81,640 円/筒

〔貯法〕遮光、禁凍結、2～8℃

【効】既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎

【用】(注) 初回に 600mg を皮下投与し、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。

(ピラルビシン塩酸塩)

▶ピノルビン注射用 30mg

劇

Pinorubin 30mg/V

〔日本化薬〕

〔薬価〕16,610 円/瓶

【効】頭頸部癌、乳癌、胃癌、尿路上皮癌(膀胱癌、腎盂・尿管腫瘍)、卵巣癌、子宮癌、急性白血病、悪性リンパ腫の覚的・他覚的症状の寛解並びに改善

【用】(注) 〔静注〕〈Ⅰ法〉(3～4 週 1 回法)乳癌、胃癌、卵巣癌、子宮癌、尿路上皮癌、悪性リンパ腫：1 日 1 回、40～60mg(25～40mg/m²)を投与し、3～4 週間休薬する。これを 1 クールとし、投与を繰り返す。〈Ⅱ法〉(3～4 週 2 回法)尿路上皮癌：1 日 1 回、30～40mg(20～25 mg/m²)を 2 日間連日投与し、3～4 週間休薬する。これを 1 クールとし、投与を繰り返す。〈Ⅲ法〉(週 1 回法)頭頸部癌、乳癌、胃癌：1 日 1 回、20～40mg(14～25 mg/m²)を 1 週間間隔で 2～3 回投与し、3～4 週間休薬する。これを 1 クールとし、投与を繰り返す。〈Ⅳ法〉(連日法)頭頸部癌、悪性リンパ腫：1 日 1 回、10～20mg(7～14 mg/m²)を 3～5 日間連日投与し、3～4 週間休薬する。これを 1 クールとし、投与を繰り返す。〈Ⅴ法〉(連日法)急性白血病：1 日 1 回、10～30mg(7～20 mg/m²)を 5 日間連日投与する。骨髄機能が回復するまで休薬し、投与を繰り返す。〔動注〕頭頸部癌、膀胱癌：1 日 1 回、10～20mg(7～14 mg/m²)を連日又は隔日に 5～10 回投与する。〔膀胱内注入〕膀胱癌：カテーテルを用いて導尿した後、1 日 1 回、15～30mg を 500～1,000μg/mL の溶液として週 3 回、各 1～2 時間膀胱内把持する。これを 1 クールとし、2～3 クール繰り返す。

(ヒドロモルフォン塩酸塩)

▶ナルベイン注 2mg

Ⓜ

Naruvein 2mg/1mL/A

〔第一三共〕

〔薬価〕725 円/管

▶ナルベイン注 20mg

Ⓜ

Naruvein 20mg/1mL/A

〔薬価〕6,340 円/管

〔貯法〕遮光

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】(注) 1 日 0.5～25mg を持続静脈内又は持続皮下投与する。

(沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン)

▶トリビック

Sigmart 0.5mL/V

〔田辺三菱〕

〔貯法〕遮光、10℃以下、禁凍結

【効】百日せき、ジフテリア及び破傷風の予防

【用】(注) 初回免疫: 1 回 0.5mL ずつを 3 回、いずれも 3～8 週間の間隔で皮下に注射する。追加免疫: 第 1 回の追加免疫には、初回免疫後 6 か月以上の間隔をおいて、0.5mL を 1 回皮下に注射する。以後の追加免疫には、1 回 0.5mL を皮下に注射する。

(エソメプラゾールマグネシウム水和物)

▶ネキシウム懸濁用顆粒分包 10mg

Nexium 10mg/包

〔第一三共〕

〔薬価〕80.6 円/包

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群 ②逆流性食道炎 ③非びらん性胃食道逆流症 ④非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 ⑤低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 ⑥下記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助: 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎

【用】(内) 医薬品集および JUS D.I. 参照

【院内製剤変更医薬品】

(アミオダロン)

▶アミオダロン塩酸塩静注 150mg 「TE」 ⓂⓂ後

Amiodarone 150mg/3mL/A 〔トーアエイヨー〕

〔貯法〕遮光

【効】①生命に危険のある下記の不整脈で難治性かつ緊急を要する場合: 心室細動、血行動態不安定な心室頻拍 ②電気的除細動抵抗性の心室細動あるいは無脈性心室頻拍による心停止

【用】(内) ①点滴静注により投与する。1 日の総投与量は 1,250mg を超えないこと及び投与濃度は 2.5mg/mL を超えないこと。〔投与方法(48 時間まで)〕(1)初期急速投与: 125mg を 5%ブドウ糖液 100mL に加え、容量型の持続注入ポンプを用い、600mL/時(10mL/分)の速度で 10 分間投与する。(2)負荷投与: 750mg を 5%ブドウ糖液 500mL に加え、容量型の持続注入ポンプを用い 33mL/時の速度で 6 時間投与する。(3)維持投与: 17mL/時の速度で合計 42 時間投与する。1)6 時間の負荷投与後、残液を 33mL/時から 17mL/時に投与速度を変更し、18 時間投与する。2)750mg を 5%ブドウ糖液 500mL に加え、容量型の持続注入ポンプを用い 17mL/時の速度で 24 時間投与する。〔追加投与〕血行動態不安定な心室頻拍あるいは心室細動が再発し、本剤投与が必要な場合には追加投与できる。1 回の追加投与は 125mg を 5%ブドウ糖液 100mL に加え、容量型の持続注入ポンプを用い、600mL/時の速度で 10 分間投与する。〔継続投与(3 日以降)〕48 時間の投与終了後、本剤の継続投与が必要と判断された場合は、継続投与を行うことができる。750mg を 5%ブドウ糖液 500mL に加え、容量型の持続注入ポンプを用い 17mL/時の速度で投与する。②300mg 又は 5mg/kg を 5%ブドウ糖液 20mL に加え、静脈内へボーラス投与する。心室性不整脈が持続する場合には、150mg 又は 2.5mg/kg を 5%ブドウ糖液 10mL に加え、追加投与できる。

(デスマプレシン酢酸塩水和物)

▶デスマプレシン・スプレー2.5 協和

Desmopressin 1 瓶(5mL)中 125 μ g 〔協和〕

〔薬価〕4,306.6 円/瓶

〔貯法〕禁凍結、10℃以下

【効】中枢性尿崩症

【用】(外) 小児には 1 回 2.5～5 μ g(1～2 噴霧)を 1 日 1～2 回鼻腔内に投与する。成人には 1 回 5～10 μ g(2～4 噴霧)を 1 日 1～2 回鼻腔内に投与する。

【販売中止に伴う製剤等変更医薬品】

(フルニトラゼパム)

▶サイレース静注 2mg

ⓐ

Silece 2mg/1mL/A

〔エーザイ〕

〔薬価〕141 円/管

〔貯法〕遮光

【効】①全身麻酔の導入 ②局所麻酔時の鎮静

【用】(注) 用時注射用水にて 2 倍以上に希釈調製し、できるだけ緩徐に(1mg を 1 分以上かけて)静注する。

①0.02～0.03mg/kg、②0.01～0.03mg/kg とし、必要に応じて初回量の半量ないし同量を追加投与する。

(マルツエクス)

▶マルツエクス分包

Malt Extract 9g/包

〔高田〕

〔薬価〕6.2 円/g

【効】乳幼児の便秘、乳幼児の発育不良時の栄養補給

【用】(内) 1 才以上 3 才未満：1 回 9～15g、6 ヶ月以上 1 才未満：1 回 6～9g、6 ヶ月未満：1 回 3～6g、いずれも 1 日 2～3 回投与する。

▶チエナム点滴静注用 0.5g

Tienam 2mg/1mL/A

〔MSD〕

〔薬価〕141 円/管

1 瓶中：	
イミペネム水和物	0.5g
シラスタチンナトリウム	0.5g

【効】敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髓炎、関節炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合組織炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、眼内炎（全眼球炎を含む）

【用】(注) 成人にはイミペネムとして、1 日 0.5～1g を 2～3 回に分割し、30 分以上かけて点滴静注する。小児には 1 日 30～80mg/kg を 3～4 回に分割し、30 分以上かけて点滴静注する。重症・難治性感染症には、成人で 1 日 2g まで、小児で 1 日 100mg/kg まで増量することができる。

(アルギン酸ナトリウム)

▶アルロイド G 内用液 5%

Alloid G 50mg/mL

〔カイゲン〕

〔薬価〕1.61 円/mL

【効】①下記疾患における止血及び自覚症状の改善：胃・十二指腸潰瘍、びらん性胃炎 ②逆流性食道炎における自覚症状の改善 ③胃生検の出血時の止血

【用】(内) ①②1 回 1～3g(20～60mL)を 1 日 3～4 回、空腹時に投与する。経口投与が不可能な場合には、ゾンデで経鼻的に投与する。③1 回 0.5～1.5g(10～30mL)を経内視鏡的に投与するか、1 回 1.5g(30mL)を経口投与する。

(セフテラムピボキシル)

▶トミロン細粒小児用 20%

Tomiron 100mg/g

〔高田〕

〔薬価〕186.00 円/g

【効】〔小児〕咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、中耳炎、副鼻腔炎、猩紅熱 〔成人(嚥下困難等により錠剤の使用が困難な場合)〕①咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、膀胱炎、腎盂腎炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎 ②肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、尿道炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎

【用】(内) 〔小児〕小児には 1 日 9～18mg/kg を 3 回に分割投与する。〔成人〕①1 日 150～300mg を 3 回に分割して食後投与する。②成人 1 日 300～600mg を 3 回に分割して食後投与する。